

# 2019年度 活動報告

## 講演会 等

- 2019年5月 主催：朝倉市ボランティア連絡協議会(福岡県)  
演題：「人生100年時代今どきのボランティアとは」（朝倉地域障害学習センター）
- 2019年7月 東京都三鷹市 地域住民とのミニセミナー（三鷹市社会福祉協議会）
- 2019年7月 主催：筑前町地域包括支援センター（福岡県）  
演題：10年後の自分や家族・地域のために今、やっておくこと
- 2019年12月 主催：筑前町地域包括支援センター（福岡県）  
演題：筑前町アクティブシニアセミナー～支え合いの地域づくり報告会～
- 2019年8月 主催：八女市社会福祉協議会（福岡県）  
SC勉強会（第1層生活支援コーディネータと7地区の第2層生活支援コーディネータ合同の勉強会。目標設定とスケジュール策定の為のファシリテーション）
- 2019年9月 主催：鞍手町地域包括支援センター  
演題：「人生100年！地域のために今、できること」
- 2019年12月 主催：岐阜羽島市（岐阜県） 上中コミュニティセンター  
演題：「人生10年 10年後の自分の為に今、やっておくこと」
- 2019年12月 主催：篠栗町社会福祉協議会（福岡県）  
演題：人生100年！地域のために今、できること



毎年恒例開催。講演後はSC交えて勉強会を開催  
(岐阜羽島市上中コミュニティセンター)

人生100年時代！  
10年後の自分や  
家族・地域のために  
今、やっておくこと  
～人生をもっと豊かにするヒントがあります～

筑前町アクティブシニアセミナー

参加費無料  
申込不要

日程 ▶▶▶ 令和元年7月30日(火)  
開場 13:30～ 開演 14:00～

会場 ▶▶▶ コスモスプラザ2階  
会議室1・2・3 総務課3階3号室

お問い合わせ：筑前町地域包括支援センター  
0946-22-0171

〒818-0001 筑前町久米1-1 めくぼ一乗蓮華館2階内

## 生活支援体制整備事業（福岡県 粕屋町・筑前町・糸島市の主な活動のみ掲載）

【福岡県粕屋町】粕屋町生活支援体制整備事業活動報告総括より抜粋

- 新たなモデル地区2地区においてヒアリングとニーズの掘り起こし、活動支援を行った。特にK地区では自治会の協力を得て3回の説明会を行い、地域のニーズ掘り起こしを地区全体でやる体制作りのスタートと位置付けられた。
- 現在までモデル地区として活動した5地区については昨年に引き続き再度ヒアリングを実施。モデル地区はそれぞれの特徴があり、まずは耳を傾け本音が出るところまで聴くことに注力。各地域でのセミナー開催では区長はじめ、前向きに協力したいという意識が芽生えてきた。
- かすサポ生活部では活動をより活性化するために主要メンバーを交えての意見交換会を行った。それを元にボランティアの継続について全体学習会にて全地区アンケートを実施。人材育成や継続についての議論を行った。



4/23 代表者会議



6/28 生活部（訪問B）情報交換会

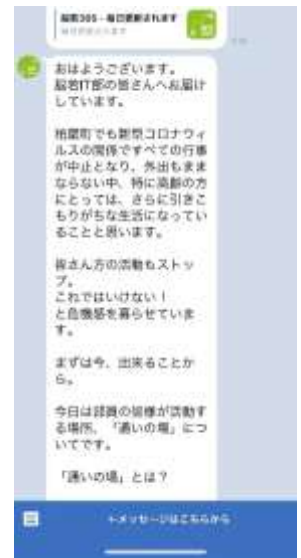


8/8 全体学習会

粕屋町「かすサポ」の活動は町の広報に大きく取り上げられた。また LINE のサービス、脳若 365 から配信の「夢かすネット通信」もコロナ影響で活動が途絶える中、育成が継続された。



←かすサポの生活部、サロン部、脳若 IT 部の活動が紹介



→  
LINE のメッセージ画面  
外出自粛期間も情報発信を継続

- ボランティア代表者会議 運営支援 4月
- 介護予防研修会 1月・3月
- かすサポ全体学習会（協働まちづくり課とコラボ）8月
- かすサポ勉強会（地域ケア会議）11月
- かすサポ 全体報告会運営支援・セミナー登壇 2月
- モデル地区の3地区へ入りヒアリング、セミナー開催等地域づくり支援 6月～10月（10回）
- 「脳若 IT 部」（第2層協議体と位置付ける）定例会運営（年11回）
- かすサポチャレンジ講座（サポーター登壇講座）全3回シリーズ（春・秋）

【福岡県筑前町】筑前町生活支援体制整備事業活動報告総括より抜粋

毎月の定例会では、地域包括支援センター・福祉課・社会福祉協議会（第一層兼二層 SC）参加のもと、今年度の目標設定を行った上で情報の共有及び活発な意見交換が行われた。モデル地区を設定し支援活動を行ったうえで、年末の活動報告会の流れを作った。上期は同時進行で通いの場活動団体へのポイント制度のありかたを検討。下期より、訪問 B の令和 2 年度試行の準備検討が本格的に始まり、ポイント制度の内容を検討していった。サービス提供までの流れ及びサービス内容の確認等を具体的に行った。11月14日、令和 2 年度の訪問 B の試行に向けて、ケアマネジャーとして感じることや住民ボランティアでできる支援の内容について、意見交換の場を設け、ファシリテーション方式でサービスの見える化、振り分け作業を行い、制度設計の参考にした。以上、当会が支援して行った会議、セミナー等の取り組みは SC の支援と 1 層・2 層の協議体の設置を推進するものであり、次年度へさらなる広がりを期待するものである。



12/19 活動報告会

【福岡県糸島市】

地域ささえあいサポーター養成講座（5月～2月 全3回を3カ所で開催）  
地域情報アプリ「いとぷり」運用  
アプリ活用までの研修を盛り込んだサポーター同士の画期的な地域情報共有ツールとして活動を後押し。

一般介護予防事業での評価事業

【「脳と運動」全国脳若プロジェクトに参加】

脳と運動、口腔、栄養の介護予防プログラムが揃った脳若トレーニングを福岡県内の自治体（宇美町・筑前町）及び鹿児島県内の自動車教習所（5校）にて実施。

個人へのフィードバック結果お渡しと協力研究機関である広島大学より研究報告書を受領。



測定の様子（片脚立位時間）

評価項目	
・ 歩容：式スモール	認知機能
・ Apathy Scale	
・ 片脚立位保持時間	身体機能
・ Short Physical Performance Battery (SPPB)	
・ Timed up&go test	
・ Life Space Assessment	栄養・生活空間
・ Mini Nutritional Assessment	

「脳若トレーニング」介入前後で比較を行う



個人へのフィードバック